

かすかべ KASUKABE 議会だより

2019(令和元)年8月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第56号



内牧の梨



令和元年7月1日現在
人口 234,248
男 116,308
女 117,940
世帯数 106,287

八ス

主な内容

主な議案の紹介	2 ページ
審議結果	3 ページ
議会人事	4～5 ページ
一般質問	6～15 ページ
閉会中の委員会活動	16 ページ
傍聴して一言	16 ページ

令和元年度一般会計補正予算 (第2号) を可決

信頼される政府統計を目指して

さらなる統計改革を求める意見書を可決

令和元年度

一般会計補正予算 (第2号) を可決

令和元年度一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出の総額にそれぞれ4億805万5千円を追加し、歳入歳出とも729億9913万円とするものである。

歳出の主な補正内容について、施設型・地域型保育給付事業1億2311万3千円の増は、幼児教育・保育の無償化に伴い、施設に対する給付費を増額するものです。

子育てのための施設等利用給付負担金4億591万6千円の増は、幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園等に対して給付するものです。

未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金給付事業370万2千円の増は、

子どもの貧困に対応するため、給付するものです。

産業基盤整備事業990万円の増は、赤沼・銚子口地区の産業団地整備調査区域周辺の道路整備に向けた費用を計上するものです。

歳入の主な補正内容について、子ども・子育て支援臨時交付金4億1407万3千円の増は、幼児教育・保育の無償化に伴い、国から交付されるものです。

民間保育所運営費保護者負担金現年度分9106万9千円の減および公立保育所運営費保護者負担金現年度分7569万7千円の減は、幼児教育・保育の無償化に伴い、10月以降の保護者負担額を減額するものです。

子育てのための施設等利用給付負担金(国)2億295万7千円および子育てのため

の施設等利用給付負担金(県)1億147万8千円の増は、幼児教育・保育の無償化に伴い新たに交付されるものです。

この議案に対し、日本共産党からは幼児教育・保育の無償化に関して根本的な問題があるとの反対討論が、新政の会からは適切な予算措置であるとの賛成討論がありました。

議員提出議案

信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書

我が国の基幹統計である毎月勤労統計調査に係る不正調査案件や、それに続く、賃金構造基本統計調査に係る不適切な取り扱いは、政府統計に対する国民の信頼を著しく失墜せしめる結果となりました。その結果、雇用保険の給付

について平成16年以降過少給付を行っていた等、2000万人近い国民に経済的損失を与えることとなっており、一日も早い、追加給付が求められるところであります。

こうした事態を受け、厚生労働省では、毎月勤労統計調査に係る特別監察委員会の検証作業や総務省行政評価局の賃金構造基本統計調査に係る検証作業、さらには、総務省

の統計委員会の政府統計に係る一斉点検などが行われてきました。それぞれの報告書に基づき、担当行政官の処分などが行われましたが、今なお国民の疑念は払拭されていない状況であります。

政府統計に対する国民の信頼失墜は、すなわち政府に対する不信につながることから、さらなる徹底的な点検・検証作業と、具体的な再発防止策を明確にする必要があると考えます。

政府においては、平成27年から統計改革に取り組んでおり、*E B P Mを推進した結果、格段の改革が行われ、今回の事案が浮かび上がったとも考えられますが、今回明らかにされた基幹統計56のうち、23までが何らかの問題が指摘さ

れる事態となっております。

統計は国の各種政策の基礎となるものであることから、信頼される政府統計を目指して、さらなる改革が必要であり、下記の事項につき、その取り組みを進めることを強く求めます。

- 1 統計委員会における基幹統計及び一般統計に係る徹底した総点検と再発防止策の策定を進めること。
- 2 統計委員会の位置づけの検討や分散型統計行政機構の問題点の整理を行うこと。
- 3 統計に係る予算・人材について見直しを行うこと。
- 4 統計に係るガバナンス、コンプライアンスの在り方について見直しを行うこと。
- 5 必要に応じて法律改正を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和元年6月18日

春日部市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
総務大臣 様
厚生労働大臣 様

【全員一致で原案可決】

*E B P Mとは、国民により信頼される行政を展開することを目指すための取組

6月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議案第 41 号	専決処分の承認を求める (税条例等の一部改正) (総 務)	承 認	○	○	○	○	○
議案第 42 号	専決処分の承認を求める (都市計画税条例の一部改正) (総 務)	承 認	○	○	○	○	○
議案第 43 号	専決処分の承認を求める (国民健康保険税条例の一部改正) (厚生福祉)	承 認	○	○	○	○	○
議案第 44 号	選挙長等の費用弁償条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 45 号	税条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 46 号	税条例等の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 47 号	手数料条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 48 号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 49 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 50 号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 51 号	介護保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 52 号	火災予防条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 53 号	旧市立病院解体工事請負契約の締結 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 54 号	旧し尿処理施設解体工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 55 号	緑中学校体育館外壁等耐震対策工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 56 号	令和元年度一般会計補正予算 (第 2 号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 57 号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 58 号	令和元年度介護保険特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 59 号	監査委員の選任につき同意を求める [中川 朗 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○
議案第 60 号	副市長の選任につき同意を求める [佐藤 哲也 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○

請 願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請 願 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
請願第 1 号	生活保護費に夏期加算を求める請願 (厚生福祉)	不 採 択	×	×	×	○	×
請願第 2 号	国保税の引き下げを求めるについての請願 (厚生福祉)	不 採 択	×	×	×	○	×

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議 案 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議第 8 号議案	信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○
議第 9 号議案	幼児教育・保育の「無償化」に係わる制度の拡充、及び、地方自治体への国の十分な財政措置を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×
議第 10 号議案	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	× ₇ - ₁	×	○	×
議第 11 号議案	学校における働き方改革の実施のため、教職員定数の抜本的な増員を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×

新たな正・副議長決まる

6月定例会において、議長、副議長が辞職したことに伴い、選挙の結果、議長に金子議員、副議長に海老原議員が選出されました。また、委員会委員等においても一部変更がありました。



市議会議長

金子 進

市民の皆さまにおかれましては日ごろから市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。このたび、6月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の重職を仰せつかりました。身に余る光栄に存じます。今後は、市民福祉の向上および市勢の発展はもとより、市民から信頼される活力ある議会、そして市民に開かれた議会、また公正公平な議会運営に誠心誠意努めてまいります。市民の皆さまには、市議会に対しまして、一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

就任のあいさつ



市議会副議長

海老原 光男

盛夏の候、市民の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

6月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、副議長に就任し、職責の重さに身が引き締まる思いでございます。今後は議長を補佐し、市民の要望に応えるため、市政の促進と公正かつ円滑な議会運営に鋭意努力してまいります。

市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。市民の皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

議 会 人 事

今定例会において、議会人事の一部が次のとおり、変更になりました。

総務委員会

- (新) 金子 進
- (旧) 佐藤 一

建設委員会

- (新) 佐藤 一
- (旧) 金子 進

議会運営委員会

- (新) 佐藤 一
- (新) 武 幹 也
- (旧) 金子 進
- (旧) 中川 朗

議会改革検討特別委員会

- (新) 吉田 稔
- (旧) 海老原 光男

埼玉県議会議員

- (新) 鬼丸 裕史
- (旧) 金子 進

埼玉県議会議員

- (新) 金子 進
- (旧) 鬼丸 裕史

江戸川水防事務組合議員

- (新) 荒木 洋美
- (旧) 中川 朗

監査委員

- (新) 中川 朗
- (旧) 佐藤 一

市立医療センター運営委員会委員

- (新) 山口 剛一
- (旧) 海老原 光男

全国市議会議長会表彰

令和元年6月11日に開催された全国市議会議長会第95回定期総会において、次の方が表彰されました。

また、6月定例会の会期中に、表彰状並びに記念品の伝達が行われました。

特別表彰【在職15年】

- 松本 浩一 議員



委員会の構成

名 称		氏 名 (◎は委員長、○は副委員長)			
常 任 委 員 会	総務委員	◎鈴木 一利 荒木 洋美	○栄 寛美 会田 幸一	卯月 武彦 山崎 進	金子 進 海老原光男
	厚生福祉委員	◎水沼日出夫 滝澤 英明	○山口 剛一 永田 飛鳳	並木 敏恵 栗原 信司	鬼丸 裕史 中川 朗
	建設委員	◎木村 圭一 佐藤 一	○今尾 安徳 古沢 耕作	井上 英治 河井 美久	坂巻 勝則 岩谷 一弘
	教育環境委員	◎石川 友和 大野とし子	○吉田 稔 松本 浩一	酒谷 和秀 小久保博史	榛野 博 武 幹也
議会運営委員会委員		◎佐藤 一 会田 幸一	○栗原 信司 栄 寛美	水沼日出夫 小久保博史	松本 浩一 武 幹也
議会改革検討 特別委員会委員		◎会田 幸一 松本 浩一 栗原 信司	○栄 寛美 吉田 稔	坂巻 勝則 木村 圭一	石川 友和 山崎 進
広報広聴委員会委員		◎古沢 耕作 今尾 安徳	○坂巻 勝則 吉田 稔	榛野 博 鈴木 一利	石川 友和 武 幹也
図書室運営委員会委員		◎古沢 耕作 今尾 安徳	○坂巻 勝則 吉田 稔	榛野 博 鈴木 一利	石川 友和 武 幹也

議会選出各種議会議員・委員会等委員

名 称	氏 名			
埼葛斎場組合議会議員	今尾 安徳 岩谷 一弘	鬼丸 裕史 武 幹也	河井 美久	栄 寛美
埼玉県都市競艇組合議会議員	金子 進			
利根川栗橋流域水防 事務組合議会議員	榛野 博	小久保博史		
江戸川水防事務組合議会議員	吉田 稔	荒木 洋美	会田 幸一	(藤枝 哲也)※
監 査 委 員	中川 朗			
市立医療センター 運営委員会委員	石川 友和 永田 飛鳳	水沼日出夫 山口 剛一	並木 敏恵 木村 圭一	滝澤 英明 鈴木 一利
国民健康保険 運営協議会委員	榛野 博 栗原 信司	大野とし子	山崎 進	栄 寛美
民生委員推薦会委員	山口 剛一	河井 美久		
都市計画審議会委員	卯月 武彦	滝澤 英明	古沢 耕作	武 幹也
空家等対策協議会委員	山崎 進			

※ 議員以外から選出



一般質問

市民の声を市政に

※ 金子進議長は職責上（議事整理権）、
監査委員の中川朗議員は申し合わせに
より一般質問は行っていません。
（文責は、各質問者）

一般質問に28人が登壇

新教育長に教育に対する 基本姿勢について問う



松本 浩一
議員

次の4点について、教育長の考えを伺います。

①教職員の多忙化解消について、どう取り組むのですか。

②現在県独自で小学校1・2年生で35人学級、中学校1年生で38人学級を実施しています。全学年で少人数学級の実施が早急に必要と思いますが、どうですか。

③全国学力学習状況調査の結果公表については、これまで市は学校の序列化や過度な競争等に配慮し「結果の公表はしない」としてきましたが、どうですか。

④市の図書館には指定管理者制度が導入されています。日本図書館協会は「図書館に指定管理者はなじまない」としています。どうですか。

○教育長

①負担感の軽減と休暇を取得しやすくする環境を整え、教職員が人間性を高め、子どもと向き合える時間の確保に取

り組んでいきます。
②国の定数改善で実施されるべきです。今後も定数改善や「加配」を国や県に要望していきます。

③市の児童・生徒はおおむね発達段階の学力を身につけています。結果の公表は、今後慎重に検討していきます。

④図書館は重要な社会教育施設です。今後も指定管理者により管理運営を行い、市民サービスの上を目指します。

このほか

○職員の未払い超過勤務手当（残業手当）は早急に全額支給を

新教育長に伺う （学校給食費の 公会計化について）



小久保博史
議員

給食費の滞納については以前から問題になっていますが、督促等については現場の教職員が対応をしています。税金の滞納の問題とは性格が少々違います。各学校においては、滞納した給食費をいかにして納めていただくかという本来業務ではない余分な負荷

がかかっています。児童生徒に向き合うべき時間を削減して対応しなくてはならないことが問題ではないでしょうか。教職員の負担を軽減するためにも、回収のための部署をつくり、そちらで対処してもらい、債権を譲渡し、回収を代行してもらい、もしくは差し押さえを含めての法的対処をするための事務手続き等は学校ではなく教育委員会等で行い、学校の負担を軽減するために公会計にすべきだと思いますが、その効果と今後の方向性について伺います。

○学務指導担当部長

公会計を実施した場合の一般的な効果としては、教職員の負担軽減、学校給食費の透明性・公平性の向上、給食費に係る事務を一括管理することで事務の効率化と収納率の維持向上が図れます。

○教育長

学校給食の公会計化についてはさまざまな課題はありますが、教職員の負担軽減や会計の透明性など多くの効果も期待されています。今後についても学校での業務の適正化と学校教育の充実に向けて、本市の実情に沿った公会計化への検討を進めていきます。

春日部市の観光について



永田 飛鳳
議員

本市の観光資源として、観光振興基本計画でも、春日部で認知度が最も高いのは、クレヨンしんちゃんという結果が出ており、また、一括質問の答弁でも、本市の観光の強みとして「クレヨンしんちゃん」の舞台として本市の認知度の高さ」が挙げられておりました。春日部といえば一番に『クレヨンしんちゃん』が出てくるのは、皆さんも知っているとおりだと思います。だからこそ、その「認知度が高いもの」で集客へとつなげられる、というのが理想だと思われませんが、観光としてのクレヨンしんちゃんの活用について春日部市としての考えを伺います。

○環境経済部長

ぶらっとかすかべでのしんちゃんとの記念撮影のお手伝いや市内スポーツの案内などおもてなしに取り組んでいるほか、春日部駅の発車メロデ

中心市街地のまちづくりについて



栄 寛美
議員

イーになったクレヨンしんちゃんの曲を楽しむ方や、しんちゃん絵はがきを求めて外国人観光客が団体で来訪するなど、各所で集客力を確認しています。このようにクレヨンしんちゃんは本市の観光振興において非常に大きな魅力を持つており、今年度は市内に点在するスポットを集約した多言語版マップを作成し、新たな旅行者の誘致に努め、回遊性向上を図り、消費機会の拡大にもつなげていきます。

このほか

○納税のキャッシュレス導入について



ぶらっとかすかべ

現在、春日部駅付近連続立体交差事業が進んでいることを評価します。しかし、鉄道を高架化して春日部駅東西のまちが一体になるのみでは「点」です。中心市街地への投資が起ころし価値を高め、事業者が集まる求心力を強くすることににより活性化に向かって好循環を生み出すことが重要です。そのために「面」としてのまちづくりが必要です。そこで、以下伺います。

①春日部駅東口地域における今後の再開発等の土地の高度利用について

②人が集い、交通の重要な拠点である春日部駅・中心市街地への大型バス駐車場を設けることについて

○鉄道高架担当部長

①今年度から新たに設置した中心市街地まちづくり審議会の中で地域の皆さまの意見交換を行い、民間投資を呼び込む誘導策として検討していき

ます。連続立体交差事業の進捗を図りながら、東西が一体となり、持続的に発展する夢のあるまちづくりを総合的に進めていきます。

②駅付近連続立体交差事業を契機として中心市街地が大きく変わるこのタイミングにおきまして、道路交通に関する問題につきましても、春日部市中心市街地まちづくり審議会におきまして議論していきたいと考えています。

このほか

○高齢社会に対応した支援について

○口と歯の健康について

新庁舎（新しい市役所建設）について



山崎 進
議員

春日部市は令和3年を目的に庁舎の建て替えを計画しています。その実施計画について伺います。

また、これからの市役所は今までのような行政手続きだけに行く場所から、多目的な目的で行く場所になるのではないかと思います。越谷市や

草加市などの他市の建て替え計画を見ても、市民が交流するスペースが計画されています。春日部市もこうした交流スペース「まちのコモンスペース」が計画されていますが、あまり聞きなれない言葉ですので、どんな場所でのように活用するのか、新庁舎建設計画の特徴を伺います。

○総合政策部長

実施設計につきましては、現在6月上旬の契約締結に向けて手続を進めています。

「まちのコモンスペース」につきましては、市民が集う新本庁舎の顔となる場所であり、これまでにいただいた市民の皆さまからの意見等を参考にしながら、さまざまな市民の出会いや交流が生まれる魅力ある空間となるよう、用途やスペースを検討していきます。

その中で、文化芸術活動や講演会等の場としてのギャラリー、まちの魅力発信・観光情報・地場産品の販売のためのシテイセールスペースやカフェなど、他市の事例を研究しながら総合的に検討していきます。

このほか

○教育について

**地域の皆さんの憩いの
場所としての公園整備を**



今尾 安徳
議員

浜川戸第2公園周辺の方から、公園の木の伐採や注意看板の設置、バリアフリー化の問題など、要望しても市が十分な対応をしてくれないとの相談がありました。

市では、公園面積900平方メートル以上で25年以上経過しており、地域と美化協定を結んでいる公園を対象として、毎年度1カ所程度リニューアル事業を実施し、整備を進めています。リニューアル事業では、地域の方からのアンケートを受けて計画を策定し、住民への説明会を実施してさらに地域住民の意見を聞いてリニューアルされた新たな公園をつくっており、地域の皆さんから大変な好評を得ています。

これにならない、リニューアル事業対象外の公園でも基準を設けて同様の対応ができないか市長の考えを伺います。

○市長

公園については、現状においても地域の方々の意見や要望に十分耳を傾け、子どもたちや高齢者の方々が安心して利用していただけるよう維持管理や整備に取り組んでいます。また、街路樹などもそうですが、木が大きくなり過ぎたものは整理していく方向です。公園においてもそういった観点で整理していきたいと思います。

このほか
○小中学校の机とイスの定期的な更新を
○市道2-1号線の側溝のふたかけを早急に

食品ロス削減を推進



荒木 洋美
議員

まだ食べられるのに捨てられる食品ロスを減らすため「食品ロス削減推進法案」が成立しました。農林水産省によると国内で2016年度に廃棄された食品は約2759万トンで、このうちまだ食べられたものは約643万トンあったと推計され、国民全員

が毎日ご飯を茶わん一杯分捨てた計算となります。国連の持続可能な開発目標(SDGs)は一人当たりの食料廃棄を2030年までに半減させる目標を掲げており、同法律は政府の基本方針を踏まえて自治体に推進計画を策定いただきSDGsに掲げられる目標の12番「つくる責任つかう責任」の中の食品ロス廃棄の半減と未使用の食品を必要とする人へ届ける「福祉的活用で「もったいない」を「ありがたう」に変える」運動を推進していただきたいと思いますが、市の考えを伺います。

○市長

本市では今年度からSDGsの具体的な検討を進めることとしており、食品ロスの問題につきましても重要な課題の一つと考えております。このような状況を市民の皆さまに認識していただき、必要な対策を講じていただくために、本市におきましても食品ロス削減に積極的に取り組んでいきます。

このほか
○認知症施策の推進
○統合型地理情報システムについて

**神明貝塚の国史跡指定
を目指して**



吉田 稔
議員

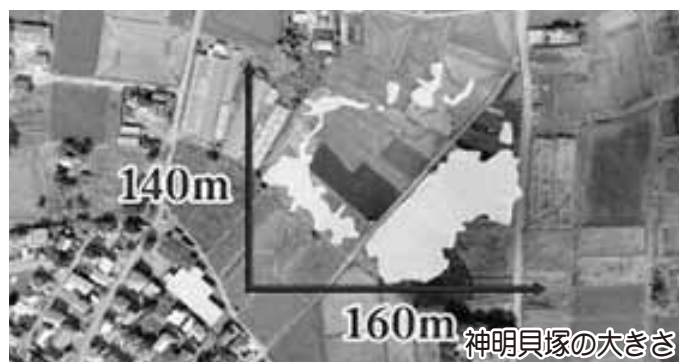
西親野井地区の神明貝塚は日本の考古学史上においても非常に貴重な貝塚であり、縄文時代の人骨が発掘されたことでも有名です。現在、国史跡に向けて関係部署で手続きに取り組んでいます。以下伺います。①神明貝塚の特徴について②宝珠花小学校跡地の利活用と周辺環境の整備について③今後の予定について

○社会教育部長

①特徴としては、直径160メートルの大規模貝塚で国内の貝塚の代表であること、東京湾岸の貝塚密集地域の最北に位置する数少ない大型貝塚であること、植物資源を中心とする食生活の多様性を示すこと、300年かけてつくられたムラと貝塚のため同時期に築かれた他の貝塚の形成過程をひもどくことができること、遺跡全体が良好に保存されていることが挙げられます。②旧宝珠花小学校跡地では国

史跡の気運醸成の場として活用を関係各課と調整し、周辺環境整備については国史跡指定後に文化庁や県、庁内関係課、地域の皆さまと協議しながら策定する保存活用計画に盛り込むよう調査研究します。③地権者の皆さまとの合意形成後、今年7月を目途に文部科学省及び文化庁あてに意見具申を行い、11月に答申がなされ、来年2月末の官報告示をもって国史跡の指定となる予定です。

このほか
○公共施設マネジメント基本計画について



神明貝塚の大きさ

**春日部駅付近での
東西交流について**



鈴木 一利
議員

いよいよ春日部駅付近連続立体交差事業の埼玉県都市計画決定が3月に告示されました。東西交流の最善策として一日も早い完成を望みます。同時に完成までの期間の東西交流も重要ですし、新市役所が旧市立病院跡地に決定されていますので、東西回遊の向上にもしっかりと取り組むべきです。

そこで、現在の東西交流手段であります民間バスと春バスの連携について伺います。そして、富士見町地下道エレベーター設置の今後について、連続立体交差事業内での仮設地下自由通路の予定について伺います。

○都市整備部長

民間バス会社と春バスの連携では、第3次春バス運行計画の策定に当たり、通勤や通学などに合わせたダイヤの編成を行い、次期計画の策定においても東西交流を確保する

運行ルートとなるよう検討していきます。

○建設部長

エレベーター設置については、今年3月に春日部駅付近連続立体交差事業の都市計画が決定され、事業認可に向けた計画が検討されていますので、手戻りが生じないよう関係機関と調整していきます。

○鉄道高架担当部長

円滑な東西交通の実現に向け、仮設地下自由通路の設置を東武鉄道と調整しています。

このほか

○地域共生社会の実現に向けて取り組みについて



**美術館を設置し、
彫刻とともに芸術のまち
として振興を**



卯月 武彦
議員

春日部駅東口周辺には、19体の彫刻が設置されています。日本を代表する彫刻家の作品もあり、大変貴重です。この地域に美術館を設置し、芸術のまちとして振興を図ることを提案します。

人間国宝を含む優れた芸術家が市内にお住まいです。美術館を造り、そうした春日部ゆかりの芸術家の作品を展示すべきです。美術館建設についての考えをお聞きます。新庁舎に教育委員会が移転するので、当面、教育センターを美術館として活用すれば費用もあまりかかりません。教育センターの活用について市長の考えを伺います。

○社会教育部長

美術館の建設については、古利根公園橋を核とし、新町橋から埼玉葛橋までの古利根親水空間を野外美術館と位置づけており、新たに美術館を建設する考えは現時点ではあり

ません。

○市長

鉄道高架事業を中心として、駅東西のまちが一体となり、生まれ変わろうとしています。これら計画、事業は連携し合うことで効果を発揮します。教育センターの利活用については、こうした駅周辺の事業や新本庁舎と連携してまちの回遊性を向上し、中心市街地が一体となったまちづくりを後押しする施設利用となるよう検討してまいります。

このほか
○粕壁小学校放課後児童クラブの待機児童解消を

**「まちづくり事業」
窓口一本化について**



山口 剛一
議員

現在、まちづくりに関する事業を、市のいろいろな部署が所管されております。どの事業も市民との協働が必須ではあります。参加する市民にとつては、事業を所管するさまざまな部署から情報や連絡、協力の要請が別々に入るというのが現状です。

特に郷土愛溢れ、自分たちの「まち」の活性化のためにできることがあるなら積極的に協力しようと行動してきた若者たちからは「市役所が縦割り組織なのはわかるが、どうしてこうも情報共有がされていないのか」という声をお聞きします。

そこで、まちづくり関連事業窓口一本化について、市はどのように考えているか伺います。

○鉄道高架担当部長

春日部駅付近連続立体交差事業といった市の骨格をなす事業が大きく動き始めるとともに、NEXT商店街プロジェクトなどに資する事業を多数計画しています。市としては、春日部市まちづくり戦略会議などを活用し、情報共有を図ってまいります。

また、春日部市中心市街地まちづくり審議会の事務局の都市整備部で、庁内の連携体制の構築も進めています。関連する事業も行政側で課題の事前調整など、市民の皆さまの負担軽減に努めてまいります。

このほか

○人を活かす組織「春日部市」について

幸松地区の諸問題について



一 佐藤 議員

旧倉松公園は、埼玉県の特別支援学校に隣接している公園であります。春日部市としては、面積1万9579平方メートル、近隣公園として位置づけられております。先日の地元自治会との話し合いの中でも、いろいろと要望がありました。地域の方々からの要望について市の考えを伺います。

また、公園内と緑道の木が大きくなり、昼間でも薄暗くなっています。安心安全のためにも公園内の樹木の剪定を行うべきと考えますが、市の考えを伺います。

○建設部長
地域の方々の要望に対しましては、今年度、除草など通常の維持管理業務のほかに、老朽化したトイレの修繕を実施する予定です。

また、老朽化が進行した木製遊具は、できるだけ早い時期に更新したいと考えています。

す。今後も地域や公園利用者と意見交換を行うとともに、公園施設の管理に協力を得ながら、安全で快適に利用できるように努めます。

樹木の剪定については、特に公園西側の緑道において、高木で囲まれた状況で見通しが悪く、剪定する必要があると認識しており、今年度において、公園南側の特別支援学校に隣接する緑道の樹木の剪定を実施する予定です。今後も、公園や緑道を利用される方々が不安なく快適に利用できるように、努めていきます。

消費増税の影響について



一弘 岩谷 議員

消費増税は、流動的との見方もありますが、現状はあくまで増税ありきということで、対策を行う必要があると考えております。そこで、市財政への影響と増減予測について、市民への影響と対策について、市内商工業者への影響と対策について質問します。

○財務部長

市財政の歳出における影響額ですが、8%だった場合と比較をしますと、約4億円の増額が見込まれます。また、具体的な額はなかなか言えませんが、同等かやや減ずる程度の歳入は確保されるものと考えています。

○総合政策部長

市民生活は、引き上げにより、2%分は家計への負担が増すものとなります。一方で、幼児教育の無償化や年金生活者支援給付金の支給、軽減税率の導入等が実施され、酒類、外食を除く飲料品、食料品等は、8%を適用するものです。

○環境経済部長

中小・小規模事業者においては、税率引き上げに伴う一時的な売上減少や新制度の実施による経理の複雑化が予想される一方、キャッシュレス・消費者還元事業の活用による売上増加や新制度に対応した機器の補助が受けられます。市広報紙で周知を図るほか、春日部商工会議所や庄和商工会と連携し、活用を促していきたいと考えています。

このほか

○廃プラスチック処理について

春日部市に市営の霊園を



英明 滝澤 議員

本市は、昭和40年代から50年代にかけて急激に転入者が増えました。昭和40年、人口約5万9千人、昭和55年、約18万8千人、令和元年6月1日現在、23万4267人。高齢化率はほぼ30パーセントです。その方々の悩みの一つが「自分のお墓をどうするか」。長年住んでいる春日部にお墓を持ちたいと思っ

ている方がたくさんおられます。そこで伺います。①本市の墓地の現状及び墓地の経営主体について②県内の公営墓地の状況について③市営の霊園を検討したことはあるか④墓地を造るための条件や手続きは民間と市営で異なるのか⑤市営の霊園を検討すべきでは。

○環境経済部長

①平成30年度末現在で市内にある墓地施設数は368施設で経営主体は原則として地方公共団体、宗教法人等です。②県内で公営墓地の直営管理

は5市1町、指定管理者による管理は1市のみです。④民営、市営ともに墓地埋葬等に関する法律に基づき市長の許可を受ける必要があります。

○総合政策部長

③市の各種計画にも位置づけはなく、具体的な検討にも至っていません。⑤現時点では現世代の皆さまの霊園に関するニーズを把握する機会を設け、結果に応じた段階を踏んで対応する必要があります。

このほか

○空き家対策と家屋敷課税について



お墓参り (イメージ)

東埼玉道路と 周辺開発について



鬼丸 裕史
議員

東埼玉道路が完成することで都心へのアクセスが格段に高まり、すでに開通したエリアでは商業施設の立地や住宅開発等、沿線の新たな土地利用が見込まれ、市の将来の発展に期待が膨らみます。一日も早く東埼玉道路が庄和インターチェンジまで全線開通し、さらに圏央道まで延伸され、関越道、東北道等とのネットワークが構築されることにより、整備効果を最大限に発現していただきたいと考えます。そこで、①現在、国によって進められている東埼玉道路事業の進捗と市の取り組みについて②東埼玉道路沿線での開発状況について③赤沼・銚子口地区の産業団地の現在までの進捗状況と課題を伺います。

○建設部長

①本市では一部区間で地盤改良工事が完了したところで、取り組みとしては、自動車専用部の早期事業化や国道16号

から圏央道までの延伸等を国に要望し、県に対し県東部地域の経済活性化や周辺まちづくり促進を要望しています。

○都市整備部長

②草加市、松伏町ではエントリー企業を選定し、土地引き渡しに向けて事業を進めています③地権者懇談会やアンケート調査により事業化への同意取得に努めてきました。農業振興地域農用地区域の除外に向けた農林調整を滞りなく進めることが重要な課題です。

このほか

○多子世帯に対する学校給食費の支援について



東埼玉道路事業予定 (資料提供 北首都国道事務所)

子どもの遊びと生活を 保障する学童保育を



並木 敏恵
議員

学童保育支援員の配置基準を事実上廃止する法改正が行われ、父母や関係者から不安の声が広がっています。そこで伺います。①市の対応はどうなるのか②今年度必要な支援員は確保できているのか③民間企業になったことで支援員の待遇は④保育の質を確保するための研修の時間や内容の変化は⑤国の基準撤廃、民間企業の参入と学童保育を取り巻く状況は変わっていますか⑥子どもたちの豊かな遊びと生活が保障されなければなりません。市長の考えを伺います。

○こども未来部長

①次年度以降も現在の基準で運営を継続していく予定です②4月1日現在、99人の支援員と73人の補助員、その他職員52人と必要な職員は適切に確保されています③民間企業と支援員等の雇用契約の内容になります、以前よりもよ

くなっていると聞いています④従前の指定管理者が行ってきた研修は継続し、新たな研修も予定され、子どもたちの安心安全な生活につながる、保育の質の向上を図る研修の取り組みが進められています。

○市長

⑤子どもたちが安心・安全で充実した生活が過ごせることを第一に考え、指定管理者とより一層の連携を図りながら、保育の質の向上に努めていきます。

このほか

○子どものインフルエンザ予防接種に補助を

子育て世代に選ばれる 街になるために



会田 幸一
議員

「日本一子育てしやすいまち」を政策目標に掲げ、これまでもさまざまな取り組みを進めてきましたが、本市の人口は年々減少の一途をたどっており、人口減少は、消費の停滞や経済力の低下を招き、税収への影響や社会保険関連経費の増大など市政運

営に大きな影響が予想されます。この課題を解消するためには、特に子育て世代に対する定住促進の取り組みが急務と考えます。

そこで以下伺います。①子育て世帯に対する現在の経済的支援について②こども医療費助成対象年齢を18歳まで拡大することについて。

○こども未来部長

①子育て世帯に対する経済的支援については、児童手当など各種手当の支給支援や、こども医療費などの医療費の助成を行っています。特にこども医療費の助成については、対象年齢を15歳までに引き上げ、窓口払い廃止対象機関に接骨院などを追加するなど段階的に拡充し、さらに5月から、市内医療機関と県立小児医療センターでの窓口払い全額廃止を実施しました。

②医療費助成の18歳まで拡大については、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる環境の充実に努めます。引き続き関係機関との調整を図り、早期実現に向け検討を進めていきます。

このほか

○新特区法案について

孤立化している高齢者に
対する春日部市の
サポートについて



博野 博
議員

春日部市においても、単身高齢者や高齢者のみ世帯が増加しています。安心して暮らせる環境のため、在宅生活の支援はどうなっているのか伺います。

また、高齢者の中には地域社会との接触を避けた生活をしていることで、さまざまな福祉サービスを知らない方もいます。現状困っていても適切なサービスを受けられない、社会や地域から孤立化した高齢者が社会問題となっており、このような場合、市はどのような対策を行っているか伺います。

そして、今後さらに深刻化する高齢化と高齢者支援について伺います。

○福祉部長
安心して生活していただくための支援としては、緊急事態が発生した際の緊急通報システム設置事業、栄養バランスのとれた食事を直接手渡し、

安否の確認を行う配食サービス事業、高齢者の防火上の安全確保を図る日常生活用具給付事業、家具転倒防止器具設置の補助事業などを行っています。

毎年度ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の状況を把握するため、民生委員・児童委員の皆さまのご協力により、高齢世帯調査などを実施しています。

地域における見守りのさらなる推進に努め、安心して暮らせるよう支援していきます。

このほか
○徴税について

春日部の顔となる
ブランド、拠点づくり



水沼日出夫
議員

宝珠花小学校跡地活用においては、春日部の顔となるブランド、拠点づくりに絶好の候補地、機会だと考えます。

これまでの跡地活用方針の中では地域の発展や利便性向上を目指す意見が多い中で、大嵐等の郷土資料の展示・収蔵施設整備にあわせ、首都圏

春日部市の行政改革は
進んでいるのか



井上 英治
議員

市町村合併で自治体数は減ったが、総務省研究会試算の「年間経費削減1兆8千億円の見込みは3800億円に止まる」との報道が4月9日にありました。行政改革推進課の看板を降ろした市の第3次行政改革の進展状況について以下伺います。

○総合政策部長
基本的な考え方としては、校舎1階を地域住民が集える場所や旧宝珠花・富多小学校の思い出等を公開する場として、2階3階を大嵐や文化財等を広く内外に発信する展示公開、収蔵、風づくり体験教室等の場としての活用を想定しています。

体育館・グラウンド等は大嵐あげ祭りの際のさらなる有効活用、また、スポーツ団体への貸し出し、避難場所、投票所等の機能も引き続き継続していく方針です。

跡地活用の基本計画は地域の皆さまからいただいた意見等を踏まえ、おおむね11月頃までに策定することを想定しており、関係法令等の手続や改修設計、工事期間も考慮し、令和2年4月から部分的に供用開始できるよう努めます。

このほか
○シヨッピンググリハビリティと買
物弱者対策

中、策定業務を委託した計画は21件で合計約3億3千万円ですが、同一年度の支出ではなく、平成22～30年度までの9年間の合計額になります。

○財務部長

②来庁者の利便性の向上及び職員の福利厚生を目的として有効に活用しているため、執務室としては難しいと考えています④問い合わせ等に適切かつ迅速に対応するため、電話交換業務を委託し、できる限り速やかに取り次ぎを行うよう努めています。

このほか
○市道整備について



地下にある組合事務所

**3年後を見据えた
豊野地域の交通整備を**



古沢 耕作
議員

豊野地域では、赤沼地区に新しい産業団地を建設するための事業可能性調査が行われ、また、東埼玉道路が4号国道バイパスのところまで延伸してくるといふ、ダイナミックな動きを目前にしています。そのことに、地元市民は、大きな期待を抱いています。ただ、こうした大きな開発が行われるに当たり、懸念されるのは交通の問題です。近い将来、自動車の交通量増加が容易に想定される中において、現在でも、豊野地域では交通渋滞が増えているように感じています。それを踏まえて伺います。

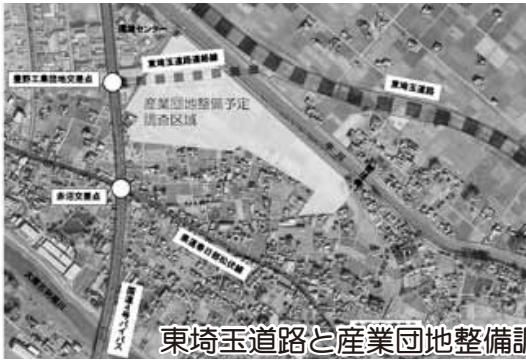
①交通量の増加に備え、今から、具体的な対策を考えておく必要があるのではないかと。②以前、大落古利根川に架ける計画があった(仮称)銚子口橋が果たす役割が、再び高まっていると考えるが、その点の認識は。

○建設部長

①豊野地域では、東埼玉道路の開通や赤沼地区における産業団地の建設などにより交通量の増加が想定されます。交通量の増加に対する対策につきましては、東埼玉道路の開通や産業団地の進捗状況を注視しながら、判断してまいります。

②まちづくりの観点や交通機能といった意味においても、銚子口橋の役割は、大きくないと考えています。

このほか
○交通マナー向上でシティセールズを



東埼玉道路と産業団地整備調査区域

**歩道・通学路の
安全対策について**



栗原 信司
議員

滋賀県大津市で発生した保育園児らを巻き込んだ交通事故、千葉県原市の公園に車が突っ込み、遊んでいた園児をかばおうとした保育士が骨折した事故、登下校の際の子どもの命を奪う交通事故、川崎ではスクールバスを待つ小学生らが殺傷される事件などが多発しています。児童生徒らを痛ましい事故からどう守ろうとしているのか伺います。

また、最近の事故の多くはブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違いによるものが多く、その対策として自動ブレーキなど安全機能の装備された自動車の開発が加速しています。これらの安全機能の装備された自動車を購入する際に補助などできないものか伺います。

○市民生活部長
安全サポート車に対する助成については、国の動向を注視してまいります。

○市長

近年、未来を担う子ども達を巻き込んだ痛ましい事件、事故が多くなっていることに危機感を感じています。市としては多くの市民の皆様に見守り活動を行って頂いていきます。今後も通学路に防犯カメラの設置など各種計画に基づいた対策を実施してまいります。

このほか
○幼児教育・保育無償化について
○緊急自然災害防止対策事業費について
○ペット同行・夜間避難訓練の実施について

(仮)高齢者おたすけ手帳の配布について



武 幹也
議員

現在、約3割の方が高齢者という状況です。もちろん元気な方もいますが、自由に動くことが難しい高齢者にとつて、買い物や通院等、日常生活においてさまざまな苦労があるのではないかと考えます。袖ヶ浦市では、高齢者おたすけ手帳という名称で、高齢

者宅に訪問可能な理容師や美容師、歯科医、薬局、食品配達や家事代行等のサービス情報を集めた冊子を作成し、配布しているという事です。そこで、本市も高齢者おたすけ手帳を作成、配布してはどうか、さらにゼロ予算事業として作成してはどうかと考えますが、市の考えを伺います。

○福祉部長
高齢者おたすけ手帳の作成については、高齢者の方が多いのか、どのように利用されているか、効果はどうか等、他市の状況を調査研究する必要があるものと考えています。また、市の予算を使わないゼロ予算事業とする場合には、冊子に広告を掲載し、その広告料を作成費用に充てる方法が考えられますが、本市でもこれまで広告料で作成した冊子があります。作成業者からは、市内の事業者から作成費用を十分に賄える広告料を集めることが難しくなっていると伺っています。

このほか
○残留性有機フッ素化合物の汚染について
○(仮)春日部ふるさと住民票について

小学校の市内陸上大会 について



石川 友和
議員

市内小学校の陸上大会は、主に各校5、6年生を中心とした選抜選手が大会に参加されていて、私たちの時代と変わらず陸上大会が行われてきました。

多くの保護者より、今年度から学校対抗の総合順位は付けないと伺いました。ある意味、学校総合順位を付ける事で、各学校が切磋琢磨して、心を一つに練習等に取り組んできたと思います。

そこで、今年度より、この学校総合順位を付けない理由について伺います。

また、この学校総合順位を付けないことで、各学校での陸上大会の練習への取り組みはどのように変わったのかを伺います。

○学務指導担当部長

児童数の異なる学校間で総合得点を競うことへの不公平感、練習日程や時間が増えることによる児童、保護者、教

職員の負担感の増大等の状況や意見から慎重に検討した結果、運営面の効率化、児童の健康、安全面への配慮、教職員の負担軽減等を考慮して、今年度より学校総合順位は付けないこととなりました。

今年度は昨年度に比べ、練習日数や練習時間を短縮した学校や、練習内容に重きを置いて指導した学校が多く見られ、子どもたちは、主体的に練習に取り組むことができました。

このほか
○児童生徒の花粉症問題について

春日部市災害時医療 救護活動について



海老原光男
議員

災害時医療救護体制では、春日部市の医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、鍼灸マッサージ師会、関係諸団体の協力のもと、医療救護訓練が昨年度より実施され、市内5カ所（市立医療センター前、東中、武里南小、豊春中、桜川小）と定められた救護所

において毎年順次実施することですが、市民の方からは、救護所が設置される場所が自宅からかなり遠くて不安だ、との意見がありました。

例えば、自治会連合会単位で、各地区に1カ所、計7カ所ずつ設置された方が分かりやすく、均等感があると思われ

ます。そこで、医療救護所の設置数と設置場所を定めた経緯についてお伺いします。

○健康保険部長

医療救護所については、医療関係者が参集することで、大勢の負傷者に対応できることや、救急搬送を受け入れる病院が重症者の治療に専念できるようにするためといった、一人でも多くの命を守るための体制を構築するものです。

設置場所に関しては、医師など医療関係者から専門的見地に基づくご意見をいただきながら、また道路、橋などの地勢や市内の医療従事者の数、地域の人口などを勘案の上、市立医療センター前、東中、武里南小、豊春中、桜川小の5カ所としたものです。

このほか

○春日部市観光振興基本計画について

SNS相談について



木村 圭一
議員

厚生労働省の自殺統計によると自殺者割合は近年減少傾向に向かっているものの、十歳代の自殺者割合は高止まりしたままで、社会問題になっています。特に埼玉県

の自殺者数は平成30年では、全国三番目に高い状況です。本市

でも相談体制の充実を図っていることは承知をしていますが、児童生徒のスマートフォン等の保有率が県内平均より10%も高い傾向がある本市で、さらなる充実をさせるため、SNSを活用した相談を行うことができないものか。また、自殺防止対策として学校等を卒業された若者に対する悩み相談についても、相談しやすいようにSNS等を活用した相談を行ってみてはどうか。

○学務指導担当部長

SNSを活用した相談については、さらなる研究が必要なたため、他自治体の取り組みの情報収集に努めていきます。

今後、現在の相談の充実を図り、相談者の心情に寄り添った相談を実施していきます。

○健康保険部長

自殺防止のためのSNSによる相談は、画面の文字だけで適切に把握できる技能を持つ相談員の育成や、夜間や休日などの相談体制を構築することに課題が多く、現段階では厚生労働省や県が実施しているSNSやメールなどの相談を案内していきます。

このほか

○本市のドローン活用について

○新婚生活支援について



保有率の高いスマートフォン（イメージ）

高齢難聴者の
補聴器購入に
公的補助を



坂巻 勝則
議員

聞こえるということ、人と人のコミュニケーションと社会参加には不可欠な機能ですが、70歳以上の約半数が難聴と言われており、今のところ補聴器を使うしか手立てはありません。日本の補聴器所有率は欧米と比べ格段に低くなっています。欧州では補聴器装着を医療のカテゴリーで手厚く補助しており、個人負担が低額負担で装着できるため普及しています。対して日本は障がいのカテゴリーで対応しているため、聴力70デシベル以上の重度難聴者以外は公的助成の対象にならないため個人負担が多く、補聴器の普及が進んでいません。世界保健機関（WHO）は、中度難聴の聴力レベル41デシベル以上を補聴器装着基準としています。また、厚生労働省の新オレソンプランでは難聴の放置を認知症の原因の一つとして挙げています。早期

の補聴器装着は認知症予防や医療費節約にもつながります。高額のため購入を諦めることがないように、公的補助が必要だと思いますが考えを伺います。

○福祉部長
補聴器を使用する効果については国において研究中であることから、市としては現行制度の中で適切に対応します。

○市長
補聴器購入の助成制度創設については、補装具費支給制度により適切に対応します。

障がいのない子も
共に取り組める春日部に
児童館」の建設を



大野とし子
議員

子どもの権利条約が批准されて30年になります。第2条に差別の禁止があり、障がいのある子どものニーズに合わせて、社会の中で普通に暮らしていけるインクルージョンの促進が掲げられています。埼玉県教育委員会は、障がいのある子もいない子も共に生

きるからこそが普通であるとのノーマライゼーションの理念に基づき、支援籍学習に取り組んできました。春日部市は平成18年度より取り組んでいます。支援籍学習の取り組みをどのように評価し、多機能トイレ設置など環境整備も含め、今後どのように充実していくのか伺います。

また、特別支援学級と通常学級との交流は最も身近な支援籍学習として重要と考えますが、市の認識を伺います。

○学務指導担当部長
通常学級の児童生徒にとつては障がいのある子への理解が深まり、優しさを持つことができ、障がいのある子にとっては地域に住む友達と知り合えるなど心情面、態度面共に変容が見られることから、児童の成長を促す効果的な取り組みと考えています。環境整備については、教育的ニーズにに応じて実施していきます。また、特別支援学級の児童生徒もクラスの一人であるという認識のもと、全般にわたる通常学級との継続的、多面的な交流に努めています。

このほか
○学校給食費の無償化で笑顔あふれる給食に

請願の提出方法について

- ① 市議会への請願の提出は、次の要領でお願いします。原則として、左記様式により提出してください。（請願書様式は、市議会ホームページからダウンロードできます。）
- ② 請願には、市議会議員1人以上の紹介が必要です。請願書の表紙に、紹介議員の署名、または記名押印を受けてください。
- ③ 請願者は、署名・記名にかかわらず押印が必要です。
- ④ 請願者が複数の場合は、代表者を決めてください。
- ⑤ 道路・下水道など、場所に関するものについては、略図を添付してください。
- ⑥ 各定例会で審査されるものは、各定例会開会日の5日前に開催される議会運営委員会の前日までに提出されたものになります。

内容	表紙
件名 要旨 理由 地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。 令和 年 月 日 請願者 住所 氏名 春日部市議会議長 あて	を求める請願 紹介議員

《用紙はA4 横書き》

※詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

- 5月22日
令和元年6月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

- 4月19日
議会報告会について
- 議会内の設備等について
- 5月22日
議会報告会について
- 議場内の設備等について

▽広報広聴委員会

- 6月25日
議会だより第56号について
- 7月5日
議会だより第56号について

▽図書室運営委員会

- 6月25日
令和元年度購入図書の申し込みについて

市議会ホームページのご案内

市議会ホームページがスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



傍聴して一言

初めて参加させていただきました。春日部が良くなることを願います。 女性・74歳

身近な問題について質疑応答が続き、大変参考になりました。初めて参加して有意義な時間を過ごさせていただきました。私をはじめ多くの市民が関心を持つためにはもっとアピールしたほうが良いと思います。少し傍聴者が少ないように感じました。 女性・75歳

もっとゆっくり大きい声でマイクに近づけてお話しください。高齢者には特に聞き取りにくいです。議長は時々、議場内の方に「よく聞こえていますか」と呼びかけてください。 男性・69歳

交通マナーに関して、「春日部ルール」をいち早く決め、全国に先がけ実行してほしい。答弁ももっと市独自のはつきりとしたものにしてほしい。

一日でも早ければ事故も減ると思う。 女性・77歳

市の予算も増え、事が活発に進むようにお願いします。 男性・60歳

議員の質問と市の回答により身近な消費税対策、廃プラスチック対策がされていることがわかり安心しました。広報で詳細が通知されていると思うので細かく読むようになります。 男性・74歳

※割愛させていただいた部分もあります。

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
5/28	7	上程・説明
30	2	質疑
6/3	2	委員会
5	18	一般質問
6	45	一般質問
10	22	一般質問
13	11	一般質問
14	26	一般質問
18	1	討論・採決
合計	134	

編集後記

盛夏の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

東京オリンピック・パラリンピック開催まで約1年となり、オリンピック聖火リレールートに春日部市も選定されました。旧日光街道「粕壁宿」を通る計画で、春日部の街並みを全国の方々に見ていただくことを想像しますと、今からわくわくいたします。ちなみに聖火ランナーが春日部を駆け抜けるのは令和2年7月8日の予定です。

さて、6月定例会では、本年10月より国が実施する予定の「幼児教育・保育の無償化」に伴う事業を含む、一般会計補正予算を可決。また、毎月勤労統計調査の不正等により、国民の疑念が払しょくされない中、国に対し、信頼される政府統計を求める意見書を全会一致で採択しました。また、今定例会では、新議長、副議長を選出しました。議員一同、新たな気持ちで、市民の皆さまの福祉増進のため、今後も真摯に取り組んでまいります。

広報広聴委員会

- 委員長 古沢 耕作
- 副委員長 坂巻 勝則
- 委員 榛野 博
- 委員 石川 友和
- 委員 今尾 安徳
- 委員 吉田 稔
- 委員 鈴木 一利
- 委員 武 幹也
- オブザーバー 金子 進
- 議長 海老原光男
- 副議長

〒344-8577
埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)
内線 3116

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。

傍聴席は56席（車イス傍聴席2席含む）となります。

本会議は、通常午前10時から開催します。

次の定例会は
8月26日(月)
開会予定です

